

# JLEM News Letter Vol.32

## 第37回日本語教育方法研究会開催

発表 23 件 参加者 125 名  
第 38 回は国際基督教大学にて

2011年9月10日(土)、第37回日本語教育方法研究会が京都外国語大学で開催されました。中川良雄先生はじめ、京都外国語大学の皆さま、大変お世話になりました。

当日は、研究会と併せて総会が開かれました。また、前日9月9日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の研究会は、2012年3月10日(土)国際基督教大学において開かれます。みなさまふるってご参加ください。

### 開催を終えて

中川良雄  
(京都外国語大学)

第37回日本語教育方法研究会は、2011年9月10日(土)に京都外国語大学にて開催されました。まだ夏の暑さの残る初秋の京都には、全国各地から120余名の会員・非会員が集まり、午前・午後で23本の発表がありました。

京都外国語大学日本語学科は、今年設立20周年を迎え、光輝ある本研究会が開催されたことは、まこと喜んで、歴史の1ページを飾

る記念イベントとなりました。

懇親会での京料理をはじめ、ご参加の皆さまには、短い京都滞在をお楽しみいただけたのではないかと自負しております。

開催に当たり、会長・事務局・運営委員の方々をはじめ、多くの方々のお世話になりました。紙面を借りてお礼申し上げます。

おおきに、ありがとさんどした。

### 研究会に参加して

柴田あづさ  
(神戸市外国語大学)

京都外国語大学での第37回研究会に参加させて頂きました。ポスター発表がメインという進行方法には最初驚きましたが、実際に発表者の方から間近でお話を伺い、直接質問をしたり、同じ場にいる他の方たちと意見や情報交換ができたことは、非常に意義深いものでした。加えて、閉会の辞に川村会長が厳しくも優しく今回の反省点を振り返られ JLEM が目指すビジョンや手作りの会という姿勢を大切にしていることを参加者に確認されていたのも大変印象的でした。お世話くださった皆様に心よりお礼申し上げます。

### 次回開催にあたって

田中和美  
(国際基督教大学)

第38回 JLEM 研究会が ICU で開催されることになり、日本語教育の活性化にお役にたてることをとても光栄に思っています。皆様の研究成果をうかがうこと、皆様と交流できることを楽しみにしています。

ICU はこの2、3年の間に食堂が新しくなったり、学生会館が増えたり、教学改革に合わせて少し変化がありました。新しいキャンパスの様子をどうぞ見にいらしてください。紅梅もまだ咲いているころかと思えます。

よい会にできますよう、できるだけのことをさせていただきたく思っています。多くの方のご参加を一同お待ちしております。

### 運営委員会報告

第37回の研究会の前日、9月9日(金)に京都外国語大学にて運営委員会が開かれました。

前回の運営委員会が震災の影響でメーリングリストでの会議だったため、久しぶりの顔合わせでした。総勢21名の運営委員のうち、19名が出席、他の2名からも委任状の提出がありました。運営委員会の前半に

は、今回の開催校の京都外国語大学の中川良雄先生も参加してくださいました。

今回の運営委員会で決まったことを以下にご報告いたします。

#### ①前回の運営委員会の審議事項

- ・すべての案件に関して、再度審議し、問題等がないことを再確認した。

#### ②20周年記念事業

- ・記念大会は2日間とし、1日目は記念行事、2日目は、通常と同じ形の研究会にする方向で検討する。
- ・2013年春の大会を20周年記念大会とし、パネル。セッションも行う。(詳細は別項参照)

#### ③今後の研究会の開催予定校

- ・2012年春 国際基督教大学
- ・2012年秋 金沢大学

#### ④会員へのメール一斉送信

- ・研究会のお知らせ、会費納入のお願い等についての連絡手段として、メールの一斉送信を検討する。

(川村よし子)

## 総会報告

3月26日(土)に首都大学東京で開催予定だった第35回日本語教育方法研究会が中止になったため、総会も開催できず、総会で審議予定だった案件に関しては、運営委員会に一任してもらい、結果をニュースレター等で皆様にご報告するとともに、今回の総会で追認していただくことになっていました。

総会は9月10日午後1時50分から今回の会場校である京都外国語大学にて行われました。総会には80名を超える参加者があり、定足数(会員総数514名の10分の1以上)を満

たしていたので、総会として成立しました。審議事項は前回のニュースレターでお知らせしたとおりです。すべての議案に関して、異議はなく、承認されましたので、ここにご報告いたします。

#### 1. 2010年度決算

(前号のニュースレターに同封)

#### 2. 2011年度予算

(前号のニュースレターに同封)

#### 3. 運営委員会の委員の交代

退任 才田いずみ氏、名嶋義直氏

新任 渡邊芙裕美氏(慶応義塾大学・会誌編集担当)

長谷川守寿氏(首都大学東京・会員管理担当)

#### 4. CiNiiへの論文掲載とその方法及び論文執筆者からの許諾の取り方

①CiNiiへ論文本文を掲載する。

②閲覧は無料とする。

③会誌発行の1年後に公開する。

④論文執筆者からの許諾に関しては、メール・ニュースレター・HP・総会等で告知し、CiNii掲載への許諾を依頼する。2012年3月31日までに執筆者から不許可の連絡がなければ、許諾を得たものとする。

#### 5. 20周年記念事業

①2013年春に記念大会を実施

②2013年秋あるいは2014年春に、20周年記念号を刊行

(詳細は別項参照)

#### 6. 今後の研究会の開催予定

- ・2012年3月10日 国際基督教大学
- ・2012年9月15日 金沢大学

<追記>

2013年春以降の会場校は未定です。研究会の会場校をお引き受けいただけたところがありましたら、是非、よろしく願いいたします。

(川村よし子)

## 20周年記念事業に

### ついて

前号のニュースレターでもお知らせしましたように、2013年春にJLEMは20周年を迎えます。昨年秋から20周年記念事業ワーキング・グループはこの節目にふさわしい記念事業の検討を重ねてきました。記念事業のメイン・イベントとなる記念大会の骨格がまとまってきましたので、ご報告させていただきます。

JLEM20周年記念大会は2013年春季研究会の日程に合わせて開催の予定です。大会においては、これまでの研究発表の動向を振り返るとともに、JLEMならではの実践研究をいくつかとりあげ、今後の研究会の展望を参加者の皆さんと考えたいと思います。

皆様ご存じのように、JLEMはポスター発表が中心という特色を持っています。その特色は「発表者が試みている実践の効果や課題を参加者と徹底的に議論し共有できる」という特色にも繋がっています。

記念大会では、JLEMで繰り返し発表することにより、教育実践、教育方法を継続的に改良してきた事例をパネル・セッションでいくつか取り上げ、JLEMで発表することの意味、そして、教育方法研究のあり方について議論を深めたいと考えております。

また、記念事業としては、上記のパネル・セッションをまとめた20周年記念研究会誌の発行という案も議論されております。これらの議論に

ワーキンググループメンバーとして  
加わり、記念大会を盛り上げたい、  
という方は以下のアドレスまでぜひ  
ご連絡ください。

jlem-ml@tiu.ac.jp

(衣川隆生)

## CiNii への論文掲載 について

JLEMでは、過去の会誌を含め、  
研究会誌を CiNii に掲載するこ  
とに決定しました。掲載は2012年  
の4月以降になります。各会誌は、  
発行から1年を経過したものから  
逐次掲載し、「無償公開」といた  
します。

詳細は、ニュースレター  
(Vol. 30, Vol. 31) をご覧ください。  
い。

CiNii への論文掲載を「**希望しな  
い**」場合はホームページにあります  
「JLEM 会誌原稿の CiNii 掲載許諾不  
可に関する連絡用紙」を  
<jlem-ml@tiu.ac.jp>にお送りく  
ださい。尚、2012年3月31日まで  
にご連絡がない場合は、お認めいた  
だいたということに対応したいと思  
います。ご理解とご協力のほど、よ  
ろしくお願いいたします。

## ご連絡先を お知らせください

下記の方々の連絡先が不明となっ  
ております。ご存知の方がいらっし

やいましたら、事務局までご一報く  
ださいますようお願い申し上げます。

中野区 恵谷 容子さん

中野区 山中 都さん

京都市 NAZAROVA

EKATERINAさん

つくば市 黄 馨瑤さん

横浜市 玉城 和代さん

秦野市 増倉 洋子さん

東久留米市 道脇 綾子さん

## 住所変更 お知らせください

JLEMでは、会誌の発送にクロネコ  
メール便を利用しています。郵便は  
転居先へ届けるサービスがありますが、  
クロネコメール便ではお届けでき  
ません。住所変更の場合は、速や  
かに事務局までお知らせください。

## 事務局よりご連絡

### ●会費の納入について

7月末で会費の確認ができない方  
は9月以降の会誌の送付を中止して  
おります。ラベルの納入年度をご確  
認ください。会費は年3000円です。

会誌発送直前に入金いただいた方  
は事務の手続き上、ラベルの表示が  
前年度になっていることもあります  
のでご了承ください。

### 1) 郵便局より送金する場合

「電信払込み請求書・電信振替請求  
書」(水色の枠のもの)を使用し、

以下宛てお送りください。

記号：10140

番号：69076511

加入者：日本語教育方法研究会

2) 銀行の ATM やネットバンキング  
を利用し、振り込む場合以下宛にお  
送りください。

銀行名：ゆうちょ銀行

店名：〇一八 店 (ゼロイチハチ店)

金融機関コード：9900 店番：018

預金種目：普通 (または貯蓄)

口座番号：6907651

口座名：日本語教育方法研究会

尚、ホームページの入会申し込み  
のページにも振り込み方法をご案内  
しております。

<http://roo.tc/JLEM/> (新 URL)

\* 海外からの会費払い込みについ  
ては、国際郵便為替でお支払いくだ  
さい。

### ●バックナンバーについて

会誌バックナンバーの販売を行っ  
ております。一冊700円(プラス送  
料実費)です。購入ご希望の方は事  
務局までご連絡ください。大まかな  
在庫はホームページに掲載してあり  
ますが変動もございますので、ご参  
照の上、事務局宛メールでお問い合  
わせください。

\* 問い合わせ先: jlem-ml@tiu.ac.jp

(金庭久美子)